

## 【 第3回中標津町自治推進会議報告 】

日時：平成30年2月26日（月）19：00～20：50

場所：中標津町総合文化会館 2階 第3研修室

出席者：12名（中標津町自治推進会議委員7名、ファシリテーター1名、事務局4名）

### <会議次第>

- 1 開 会
  
  - 2 会長挨拶
  
  - 3 議 題
    - (1) 第2回の振り返り
    - (2) 意見交換
    - (3) 来年度以降の自治推進会議について
    - (4) まとめ・振り返り
  
  - 4 閉 会
- 

### <会議結果報告>

- 1 開会
  
- 2 挨拶：佐々木会長
  
- 3 議 題
  - (1) 前回の振り返り  
⇒ 東田ファシリテーター

前回の意見の中から、何が自治だったと思うか、中標津町の自治に繋がっているところがあったかを確認したい。前回の意見交換の中で、どのようなところに皆さんは気づいたか、発表しましょう。

◇前回の意見交換をして、どう思ったか、また自治が分かったらそれはどこか？

⇒ 委員より

- ・ 情報の共有が一番大事だと思う。町内会活動などをやっているときに情報共有を行っているが中標津町としては不十分。よくなるよう自治基本条例が浸透していけばと思う。
- ・ 計根別は町内会活動が盛んで、地域の繋がりが当たり前にある。人と人を繋がりが自治に繋がってくると思った。
- ・ 自分の活動はSNSを使ってPRをしている。あまり町民、町内会の人が自分の活動以外を知らないと思う。チラシや冊子を作成すればいいと思うがお金がかかる…他の団体の取り組みを模索してみるのも面白いと思う。
- ・ 社協の仕事が「情報共有・町民参加・協働」しかし社協では地域福祉って？と聞かれることが多い。福祉のまちづくりをしていると言ってもピンと来ない人がいる。地域福祉のことを伝えることが委員に伝えて、反対に福祉だけじゃない自治もあるというところを学んで、人と繋がって地域福祉を広めていけたら自治も広がっていくと思う。
- ・ 色々な方がそれぞれ頑張っているが、ばらばらに感じる。それが繋がっていけば自治になるのかと。そちらがこれを行っているのなら、うちはこれを、という連携が取れたらよりいいのかなと思う。
- ・ 頑張っていることが見えてれば、それが繋がり、自治になってくるかと思う。情報公開を積極的にして欲しい。今は行政との情報連絡がスムーズでないと思う。簡単にできるようになれば。

[会議風景]



## (2) 意見交換

⇒ 事務局より意見交換を始める前に公募委員の募集の説明がありました。

自治推進会議委員に1名欠員が出ていることから、平成30年度に1名募集予定

### ①自治基本条例の周知活動をどうするか

⇒ 委員より

- ・ 昨年度、自治基本条例の啓発イベントをやったが、どれだけ効果があったかわからない。
- ・ 「自治」という文字が硬く感じるので、分かり易い言葉に代えてみては。
- ・ それぞれ他の団体行っている活動を知れば、それが他の人にも波及すると思う。  
↑↑それを平成33年度まで、少しずつ進めていけたら。
- ・ お金の話は抜きとして有名な劇団などに自治について講演をしてもらえば。

- ・ 事例を取り上げた子ども向けの絵本などがあれば大人も子どももわかりやすいと思う。
- ・ 動画作成し公開すれば、中標津町と関わりが無い人にも周知できるかも。
- ・ 各団体の活動に町政の人達が参加していけばいいと思う。
- ・ 広報に載せている条例の記事が一通りおわたたら、活動団体の紹介を行い、協働がどういうものかをお知らせしたらいいのでは。

◇「自治」を簡単にいとなんだらう…??

- ・ 話し合っで決める
- ・ 自律
  - 自分の気まますを押しさえ、または自分の立てた規程に従い、自分のことは自分でやっでいくこと。自分の行動を自分の立てた規程に従って正しく規制する事
- ・ 自分達のことを自分達で決めること←好きなようにやることではない
- ・ 楽しみながらつくる自分たちの町⇒自分たちの町をつくることゝ自治

②平成33年度までの活動をどのようにするか

**中標津町自治推進会議としての目標**

- ・ まちづくり町民アンケートの結果の向上（問 61、問 62）
- ・ 町内会の加入率の向上
- ・ 町民意識改革
- ・ 活動していない人を活動するようにしたい。

⇒ 委員より

- ・ ここの会議でいかに町民の人達に浸透させるかが課題だと思ふ。
- ・ 町民が活動に取り組んでもらえるにはどうしたらいいかが難しい。
- ・ 町内でこんな活動をやっでいるよとお知らせすれば。
- ・ 団体に入っでいなくても別にいい。（意識が重要）
- ・ 何でも行政にお願いしてしまいそうになるけど、そうではなく町は自分達で取り組んでいかなければならない。（多少は手伝ってもらふことは必要）
- ・ 町の公募に町民が黙っでいても応募してくれるようになってくると自分達で作っでいる町だなと思えるようになってくると思ふ。
- ・ まちづくり系の会議がありますと周知し、町民の意見を汲み取っでくれる行政であれば。そのためには行政も議会も情報共有が重要になってくる。
- ・ ゴミゼロの日はたくさん人が集まり、色んな団体が協力してやっでいる。
- ・ 行政にやっでてもらえばというのが多い。「なんで私がやらなきゃいけないの」という声が聞く。その意識が変われれば自治に近づいてくるのかなと思ふ。
- ・ 行政、町民のバランスが重要。

- ・ 条例の運用状況を向上させるためには何をすべき？どういった働きかけをすればいい？
- ・ HP見ても文章だけ。【自治推進会議】ではなく、【自分達でつくる～】とかにするか。
- ・ SNSを実施しては。HPやSNSに活動をどんどん挙げていけば。  
→自治推進会議でSNS利用できるか次回までに確認（事務局）

◇次回以降の検討事項

- 平成33年度までの活動スケジュール
- 運用状況をより良い方へ導くための具体的な取組

4 閉 会